

# コンパクトシティなど理解深める

## 建設トッププランナーが視察研修

新事業や新しい建設業に挑戦する建設経営者の集まりである、建設トッププランナー倶楽部(代表幹事・米田雅子慶大先導研究センター特任教授)の富山県視察研修が、5月29日から31日の日程で開催された。取材は、北

陸工業新聞社など、地方の建設専門紙19社で構成する「地方建設専門紙の会」が当たった。視察研修には米田代表幹事のほか、北海道や青森、岩手、宮城、新潟、東京、神奈川、静岡、岐阜、愛知、和歌山、鳥取、

島根、愛媛から経営者ら約30人が参加。初日の冒頭、同倶楽部の幹事で、今研修の世話役を務めた大高建設(黒部市)の大橋聡司代表取締役社長が「北陸新幹線が開業し、富山の駅周辺は賑わっている。私の地



天林太陽光発電所①とグランドプラザの視察状況

元である宇奈月温泉の来客数も対前年169%の伸び。今回は皆さんの期待に応えられるよう頑張りたい」、米田代表幹事は「黒部、宇奈月への訪問は私の念願。全国的に有名な富山市のコンパクトシティと環境未来都市に携わった関係者から直接話が聞けるのは光栄なこと。地域再生大賞の東海・北陸ブロック賞を受賞した、でんき宇奈月プロジェクトの大橋代表にも直接案内してもらえ

たい」とあいさつ。一行はその後、立山町



木質ペレット工場内での記念撮影

## 全国の経営者ら30人参加

の天林太陽光発電所(富山県環境技術事業協同組合事業)、富山市中大浦の「とやまペレット」木質ペレット工場(丸新志鷹建設(株)事業)を視察。引き続き、新日本コンサルタンの平田和幸事業推進部部长、大門健一都

まちづくり戦略「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」をテーマに講演。富山ライトレールや市内電車環状線化事業の整備効果、中心市街地活性化への活動状況などを紹介し、取組内容への理解を深めた。丸新志鷹建設の志鷹新樹代表取締役社長は、「中小建設業の現状と挑戦」と題し、ネパールとブータンで受注した工事の概要、施工管理の状況、今後の取組と課題などを説明。夜には、大高建設グループ企業事業の「しゃぶしゃぶ温野菜上飯野店」で懇親会を開いた。

30日は、黒部市のYK Kパッシングタウン建設現場、宇奈月ダムなどを視察。大橋社長が大高建設グループによる新分野進出の事例、代表理事を務める、でんき宇奈月プロジェクトの事業概要を解説した。31日には、黒四発電所や黒部ダムなどを